

平成 29 年度 福岡県強度行動障がい支援者養成研修 基礎研修・実践研修 募集要項

1 目的

行動障がい有する方のうち、自傷や他傷行為、破壊行為など、生活環境への著しい不適応行動を示す強度行動障がいのある方は、事業所での受け入れが困難である場合や、受け入れ後も身体拘束や虐待につながる可能性が懸念されています。

その一方で、障がい特性に応じた適切な支援を実施することは、不適応行動の減少や、適応行動の獲得へつながり、安定した日常生活を送るためには適切な支援を実施できる支援者を育成することが必要となっています。

このことから、適切な支援を行う支援者の育成を目的とする強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）及び、適切な支援計画の作成を行う支援者の育成を目的とする強度行動障がい支援者養成研修（実践研修）を実施するものです。

2 実施主体 福岡県

3 実施機関 社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団（担当：福岡市立ももち福祉プラザ）

4 研修日程・会場・定員

研修の種類	日程	会場	定員
基礎研修	平成30年 3月 5日(月) ～ 6日(火)	福岡市立心身障がい福祉センター 7階大研修室 (福岡市中央区長浜1丁目2-8) ※ 会場は、全て上記で実施します。	60人
実践研修	平成30年 3月19日(月) ～ 20日(火)		60人

※ 時間、実施場所及びカリキュラムの詳細等については、受講決定通知時にお知らせします。

5 受講対象者

研修の種類	要件
基礎研修	福岡県内の障がい福祉サービス事業所等において、知的障がい、精神障がいのある児者を支援対象とした業務に従事している者、もしくは今後従事する予定のある者
実践研修	都道府県が実施する強度行動障害支援研修（基礎研修）を修了した者のうち、福岡県内の障がい福祉サービス事業所等において、知的障がい、精神障がいのある児者を支援対象にした業務に従事している者、もしくは今後従事する予定のある者

※ 重度訪問介護従業者養成研修行動障害支援課程修了者は基礎研修を修了した者としてみなします。

※ 行動援護従業者養成研修修了者は、基礎研修及び実践研修を修了した者としてみなします。今回のお申込はできませんので御了承ください。

6 受講料 基礎研修 6,000 円 実践研修 6,000 円

7 テキスト代 基礎研修 2,000 円 実践研修 2,000 円

※ テキストは、国のカリキュラムに基づき、講師で作成します。

※ のぞみの園が発行する「強度行動障害者支援者養成研修受講者用テキスト」の一部を参考資料として使用しますが、別途購入いただく必要はありません。

8 研修内容 研修カリキュラム【別紙 1】参照

※ 当日カリキュラム詳細については、受講決定通知時にお知らせします。

- 9 申込方法** (1) お申し込みは、事業所ごとに行ってください。
(2) 【様式1】の申込み用紙に必要事項を記入し、**郵送**でお申込みください。FAX、E-mail での申込みは受け付けていません。
(3) 受講にあたって、障がいへの配慮を要する受講希望者は、【様式2】を添付してください。

10 申込み切 平成30年2月2日(金) 必着

11 申込先 〒814-0001 福岡市早良区百道浜 1-4-1
福岡市立ももち福祉プラザ 福岡県強度行動障がい支援者養成研修事務局

12 受講の選定 重度訪問介護従業者養成研修行動障害支援課程及び行動援護従業者養成研修の未修了者を優先し、福岡県障がい福祉課にて行います。

【受講決定通知】 平成30年2月12日(月)以降に郵送で通知します。

※ 平成30年2月19日(月)まで受講可否の通知が届かない場合は、お手数ですが、事務局までお問い合わせください。

13 修了証の交付について

修了者には、「修了証書」を交付します。

※ 基礎研修と実践研修を併せて受講される方は、実践研修最終日に交付します。

14 その他

- (1) 旅費・滞在費につきましては、すべて各所属事業所または受講生の御負担となります。また、宿泊などのご案内はしておりませんので、各自で手配をお願いします。
(2) 会場に駐車場は用意しておりませんので、受講にあたっては最寄りの公共交通機関などのご利用をお願いします。
(3) 昼食の用意はありません。各自で対応をお願いします。

15 問い合わせ先

福岡市立ももち福祉プラザ 福岡県強度行動障がい支援者養成研修事務局 (担当：平井^{ひらい}・三吉^{みとま})

TEL : 092-847-2762 FAX : 092-847-2820

E-mail momochi-c.b.support@fc-jigyoudan.org

◎ 研修募集要項及び受講申込書は、福岡県、社会福祉法人福岡市社会福祉事業団及び福岡市立ももち福祉プラザのホームページからもダウンロードできます。

強度行動障がい支援者養成研修カリキュラム(国基準)

※下記の国基準を参考に研修プログラムを作成します。
 ※決定したプログラムは、受講決定通知送付時に同封します。

〈基礎研修〉

科目		時間数	内容		
講義	I 強度行動障がいがある者の基本的理解	2.5	①強度行動障がいとは	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修の対象となる行動障がい ・強度行動障がいの定義 ・強度行動障がい支援の歴史的な流れ ・知的障がい/自閉症/精神障がいとは ・行動障がいと家族の生活の理解 ・危機管理・緊急時の対応 	
			②強度行動障がいと医療	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障がいと精神科の診断 ・強度行動障がいと医学的アプローチ ・福祉と医療の連携 	
	II 強度行動障がいに関する制度及び支援の技術の基礎的な知識	3.5	①強度行動障がいと制度	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援給付と行動障がい/他 (例) 支援区分と行動関連項目 重度訪問介護の対象拡大 障害者支援体制整備 	
			②構造化	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化の考え方 ・構造化の基本と手法 ・構造化に基づく支援のアイデア 	
			③支援の基本的な枠組みと記録	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の基本的な枠組み ・支援の基本的なプロセス ・アセスメント票と支援手順書の理解 ・記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ 	
			④虐待防止と身体拘束	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止法と身体拘束について ・強度行動障がいと虐待 	
			⑤実践報告	<ul style="list-style-type: none"> ・児童期における支援の実例 ・成人期における支援の実態 	
	演習	I 基本的な情報収集と記録等の共有	1	①情報収集とチームプレイの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の入手とその方法 ・記録とそのまとめ方と情報共有 ・アセスメントとは
		II 行動障がいがある者の固有のコミュニケーション理解	2.5	①固有のコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なコミュニケーション方法 ・コミュニケーションの理解と表出 ・グループ討議/まとめ
		III 行動障がいの背景にある特性理解	2.5	①行動障がいの背景にあるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚・知覚の特性と障害特性 ・行動障がいを理解する冰山モデル ・グループ討議/まとめ

〈実践研修〉

科目		時間数	内容	
講義	I 強度行動障がいがある者へのチーム支援	2	①強度行動障がい支援の原則	<ul style="list-style-type: none"> ・チームによる支援の重要性 ・支援の6つの原則 ・地域で強度行動障がいの人を支える
	II 強度行動障がいと生活の組み立て	2	①行動障がいのある人の生活と支援の実例	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障がいのある人の家族の思い ・日中活動場面における支援 ・夕方から朝にかけての支援 ・外出場面における支援
演習	I 障害特性の理解とアセスメント	2.5	①障害特性とアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性の理解 ・障害特性に基づくアセスメント ・行動の意味を理解する
	II 環境調整による強度行動障がいの支援	3.5	①構造化の考え方と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・強みや好みを活かす視点 ・構造化の考え方 ・構造化の方法
	III 記録に基づく支援の評価	1	①記録の収集と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の記録と方法 ・記録の整理と分析
	IV 危機対応と虐待防止	1	①危機対応と虐待防止	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚・知覚の特性と障害特性 ・行動障がいを理解する冰山モデル ・グループ討議/まとめ